

株主メニュー

- 決算期 ● 2月末日(年1回)
定時株主総会 ● 5月下旬
利益配当金受領株主確定日 ● 2月末日
中間配当金受領株主確定日 ● 8月31日
公告掲載紙 ● 日本経済新聞に掲載する。ただし、貸借対照表および損益計算書に係る情報は http://www.izumi.co.jp/ir/kessan_koukoku において提供する。
上場証券取引所 ● 東京証券取引所市場第一部
大阪証券取引所市場第一部
名義書換代理人 ● 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所 ● 住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔郵便物送付先〕 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔電話照会先〕 〔住所変更用紙のご請求〕 ☎ 0120-175-417
〔その他のご照会〕 ☎ 0120-176-417
〔インターネットホームページURL〕 <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>
同取次所 ● 住友信託銀行株式会社 全国各支店

株主優待制度の概要

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、ご所有株式数に応じて次の通り「株主ご優待券」をお贈りいたします。

ご所有株式数	一回当たり贈呈額
100株以上	200円券× 5枚＝1,000円の優待券
500株以上	200円券× 25枚＝5,000円の優待券
1,000株以上	200円券× 50枚＝10,000円の優待券
2,000株以上	200円券×100枚＝20,000円の優待券
3,000株以上	200円券×150枚＝30,000円の優待券
4,000株以上	200円券×200枚＝40,000円の優待券
5,000株以上	200円券×250枚＝50,000円の優待券

(注)2,000円以上お買上げにつき、2,000円ごとに各1枚(200円券)をご使用できます。

泉美術館ご招待券の贈呈

平成17年8月31日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様
に「泉美術館ご招待券」をお贈りさせていただきます。

2005年中間期の業績について

変化に対応してゆき お客様のご期待に応えてまいります。



代表取締役社長 山西 泰明

当中間期は、個人消費が回復基調であったものの、一段と選択的傾向を強め、競合激化と相まって、小売業界にとって厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当グループは引き続きお客様満足の獲得を目指して経営と業務の革新にスピードを持って取り組んでまいりました。

特に、当グループの中核である小売事業におきましては、商品、売場、価格帯等をお客様の視点で新たに見直し、いままでとは違う・いつ来ても楽しい店作りを心掛けました。

また、地産地消など地域密着の品揃えを強化するとともに、顧客ニーズに応じた売場の拡縮を進めてまいりました。

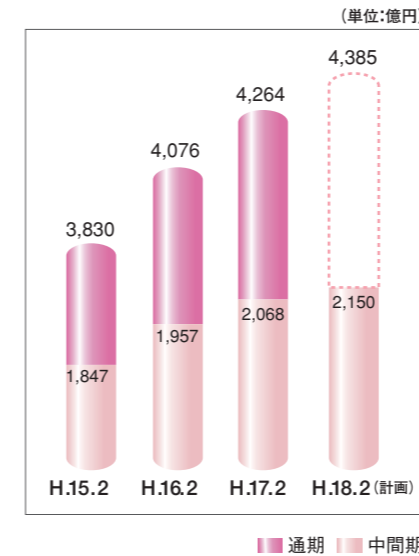
さらに既存店の活性化や有力テナントの導入を推進し、店舗の付加価値を高めてまいりました。グループ各社におきましても、それぞれの事業領域において独自の価値を創造し、堅調な業績を残しました。

これらの結果、当中間期の業績は右記の通り期初の予想を上回る好成績を取める事ができました。下半期も変化に適切に対応してゆき、企業価値の一段の向上に努めてまいります。

連結 営業収益

2,150億円

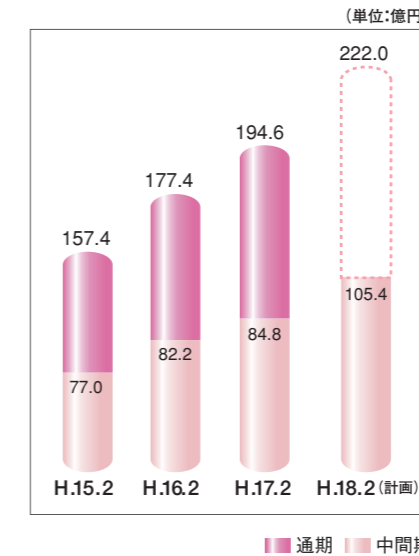
前期比 4.0%増



連結 経常利益

105.4億円

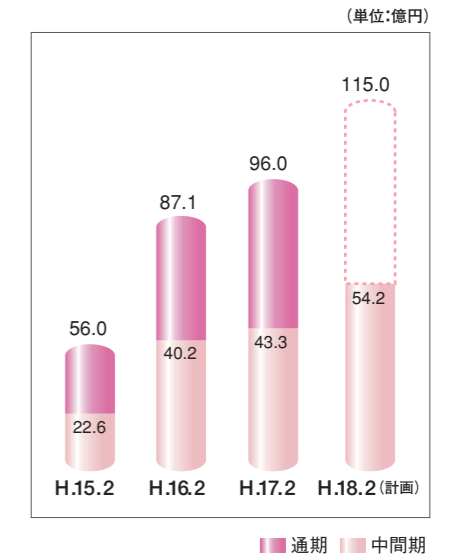
前期比 24.3%増



連結 当期純利益

54.2億円

前期比 25.2%増



単体の既存店売上高は前年比100.0%と堅調に推移。仕入原価の低減やコスト削減の成果も上がり、営業利益率は4.7%（前年中間期4.0%）と大幅に改善しました。
また、グループ各社も堅調な業績を残しており、連結中間決算は増収増益を果たしました。なお、中間1株当たり当期純利益は100円45銭となりました。

2005.6.22 グランドオープン 地域とともに夢を広げる 「ゆめタウン八代」

ゆめタウンネットワークとして熊本県下で5店舗目となる「ゆめタウン八代」が、今年6月オープンしました。

地域密着を基本コンセプトとするゆめタウンですが、「ゆめタウン八代」はまさに行政、地元商店街、周辺環境と一体となって開発された「地域密着のモデル店舗」です。地域の皆様からご支持をいただき順調な滑り出しをしています。



所在地/熊本県八代市建馬町 敷地面積/70,000㎡、店舗面積/28,100㎡、駐車場台数/2,200台

① 中心市街地との共存共栄

「地域密着による新しい街づくり」をテーマに、八代中心市街地活性化協議会と共に地域活性化に貢献する店舗開発に取り組んできました。レンタサイクルによる中心部との回遊性向上、共同販促・イベントなどを通じて八代の活性化に貢献してまいります。



② 八代発! 地産地消へのこだわり

自然に恵まれ農業、漁業が盛んな八代近郊。地域で生まれ、親しまれ、育まれてきた味覚を最も新鮮な状態でお届けする地産地消の取り組みを強化するとともに、これらの商品を他の地域にも紹介してゆきます。

③ 旬のテナント

ゆめタウンの魅力の一つは多彩なテナント集積。八代店には今が旬のテナントを90店も導入。高感度ファッションからグルメ、アミューズメントまで新しい情報が満載の「ゆめタウン」です。

④ ユニークな新カード

八代海対岸の天草地区のお客様に「天草カード」を発行。65歳以上のお客様には「はつらつカード」もご用意。八代店では商圈特性を鑑みて新たなショッピング・カードを導入し、ゆめタウンのファンを拡大しています。



自由通路と大和ミュージアムの開業でますます元気

「ゆめタウン呉」

「ゆめタウン呉」の開業は昨年9月。JR駅に近接した都市型店舗として、開業以来順調に推移してきました。そして今年、「自由通路」の開通、「大和ミュージアム」の開業を契機に来店客数はさらに増加。今後も周辺地域への商業・文化施設の開設が予定されており、「ゆめタウン呉」はますますパワーアップしてまいります。



1. 人の流れが変わる!

JR呉駅南地区は呉市が中心となって開発を進めてきたエリア。その中心商業施設として昨年オープンした「ゆめタウン呉」は、今年4月にJR呉駅と屋根付の空中歩道「自由通路」で結ばれました。さらに4月に店舗隣接地にオープンした呉市歴史海事博物館「大和ミュージアム」とも結ばれ、人の流れが大きく変わりました。同地区は大変な賑わいをみせ見事に活性化、ゆめタウンの利用者も一段と増加しました。

2. 地域に密着した運営

「ゆめタウン呉」では、市内中心部との間を循環バスが運行し、新たな人の流れを中心に部に回遊させています。また地産地消の推進はもちろん、地元イベントへの積極参加・駐車場開放など地域活動の支援を通じて「ゆめタウン」ファンの増加に努めてまいります。

3. 集客力がさらに高まる

今後、周辺部には新たな大型複合施設や「海上自衛隊呉資料館(仮称)」がオープン予定。呉駅南地区の集客度が高まり、ますます人々の注目を集めてゆくものと予想されます。ゆめタウンは周辺施設との連携を深めるとともに、地域のお客様の声を売場にフィードバックしながら着実に顧客満足を追及してまいります。



自由通路の開通で駅と店舗が直結



大和ミュージアム

地域での基盤を強化

(株)丸久と業務・資本提携

10月11日、株式会社丸久と今後の業務・資本提携に関する基本合意書を締結しました。

ともに地域密着型の小売業として、開発物件の紹介、人材交流、地場商品の共同仕入などにおいて相互に連携してゆき、地域での基盤を強化してまいります。

【企業概要】

市場	東証第二部、大証第二部(株式コード 8167)
本店所在地	山口県防府市
事業内容	食品スーパー等を中心とした小売業
年商	565億円(2005/2期、連結)
店舗数	49店舗(2005/2末時点)



イデオの環境問題への取組み

ISO14001取得

建物施設の総合管理や省エネ・省資源化を推進している連結子会社(株)イデオが、今年4月、「ISO14001」を取得しました。

「ISO14001」とは、環境マネジメントシステムの国際認証規格。環境への影響を低減する仕組みを作り上げ、これを恒常的に維持管理してゆくことで社会的責任を果たしてゆくものです。

環境問題への積極的な取り組みによって、イデオの提案力が益々高まってゆくことが期待されます。



イズミのグループ企業には様々な顔があります。
今回は九州地方でゆめタウンの一部を運営する(株)ゆめタウン熊本をご紹介します。

イズミ九州戦略のキーカンパニー「株式会社ゆめタウン熊本」

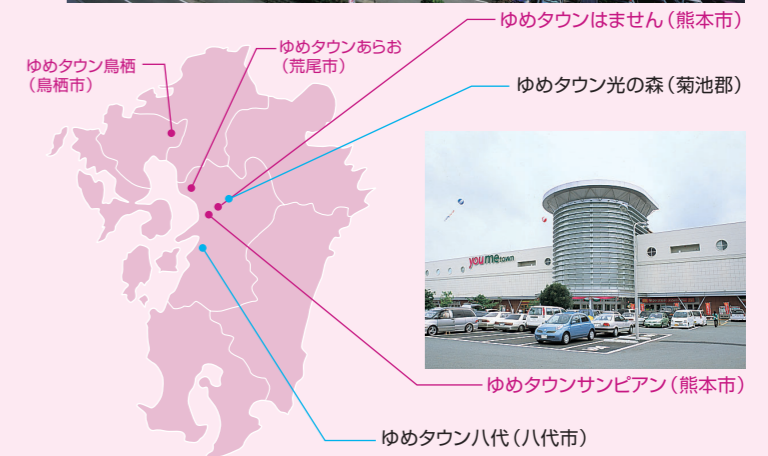
イズミは九州地方で積極的な店舗展開を行ってまいりました。

そうした中、2002年度に民事再生中の(株)ニコニコ堂の再建を支援することとなり、大型商業施設の一部を継承・運営するために(株)ゆめタウン熊本が誕生しました。

社員、取引先を引き継ぎ、地元の企業として生まれたゆめタウン熊本。

よりお買い求めやすい売場への店内ゾーニングの変更や集客力の高い新規テナントの導入、駐車場の増設などの大幅リニューアルにより、店舗は「ゆめタウン」として蘇り、地域一番店としてご愛顧をいただいております。

昨年度、これらの店舗は継承前最盛時の利益水準を越える業績を残しました。これからも各地域のニーズにきめ細かく対応してゆき、一段の進化を遂げてまいります。



2006年春、「ゆめタウンはません」がさらに充実

熊本市郊外に位置する「ゆめタウンはません」は地域一番店としてさらにパワーアップします。

9スクリーン約1600席のシネマ・コンプレックスやレストラン棟が新設され、地域のお客様の利便性は一段と向上。さらなる商圏の拡大と来店頻度の向上が期待されます。



[連結] 決算

単位:百万円

	通 期			中 間 期	
	平成16年2月	平成17年2月	平成18年2月計画	平成16年8月	平成17年8月
営業収益	407,647	426,437	438,500	206,833	215,072
前年比	106.4%	104.6%	102.8%	105.7%	104.0%
営業利益	18,078	19,770	22,800	8,543	10,637
前年比	113.0%	109.4%	115.3%	100.3%	124.5%
経常利益	17,742	19,463	22,200	8,484	10,543
前年比	112.7%	109.7%	114.1%	103.2%	124.3%
当期純利益	8,712	9,601	11,500	4,332	5,425
前年比	155.6%	110.2%	119.8%	107.5%	125.2%
1株当たり利益	148.07円	166.88円	212.91円	73.87円	100.45円
総資産	295,927	318,893	—	312,305	313,351
株主資本	84,354	85,519	—	88,242	82,206
1株当たり純資産	1,437.82円	1,546.04円	—	1,504.61円	1,571.89円
株主資本利益率	10.8%	11.3%	—	—	—
株主資本比率	28.5%	26.8%	—	28.3%	26.2%
連結子会社数	17社	21社	—	18社	21社

[単体] 決算

単位:百万円

	通 期			中 間 期	
	平成16年2月	平成17年2月	平成18年2月計画	平成16年8月	平成17年8月
営業収益	332,264	349,083	362,200	169,437	178,914
前年比	103.4%	105.1%	103.8%	105.7%	105.6%
営業利益	13,245	14,985	17,100	6,497	8,064
前年比	99.3%	113.1%	114.1%	98.9%	124.1%
経常利益	12,965	14,778	16,700	6,574	7,924
前年比	102.5%	114.0%	113.0%	103.8%	120.5%
当期純利益	7,097	7,780	9,600	3,482	4,503
前年比	126.3%	109.6%	123.4%	100.1%	129.3%
1株当たり利益	117.80円	131.86円	172.20円	57.99円	80.78円
総資産	230,509	249,922	—	248,844	244,926
株主資本	83,277	83,379	—	86,316	79,115
1株当たり純資産	1,386.40円	1,461.47円	—	1,437.44円	1,464.17円
株主資本利益率	8.8%	9.3%	—	—	—
1株当たり配当金	23.00円	24.00円	24.00円	11.50円	12.00円

[連結] 貸借対照表

単位:百万円

	当中間期 H17.8.31	前中間期 H16.8.31	前 期 H17.2.28		当中間期 H17.8.31	前中間期 H16.8.31	前 期 H17.2.28
	(資産の部)				(負債の部)		
流動資産	59,874	65,725	63,355	流動負債	94,792	84,948	96,202
現金及び預金	9,838	15,318	12,622	支払手形及び買掛金	18,942	18,266	15,629
受取手形及び売掛金	8,201	7,351	7,525	短期借入金	33,126	21,278	27,792
たな卸資産	23,529	22,746	24,124	1年内返済予定の長期借入金	20,556	19,173	20,664
その他	19,216	21,166	19,916	1年内償還予定の社債	—	5,000	5,000
貸倒引当金	△ 911	△ 856	△ 834	賞与引当金	1,884	1,782	1,374
固定資産	253,476	246,580	255,537	ポイント割引引当金	858	796	881
有形固定資産	218,389	210,130	219,565	その他	19,424	18,651	24,860
建物及び構築物	114,194	109,704	113,307	固定負債	131,462	133,732	132,539
土地	89,463	81,800	89,533	転換社債型新株予約権付社債	20,000	20,000	20,000
建設仮勘定	2,008	6,068	4,149	長期借入金	82,116	85,713	83,648
その他	12,723	12,558	12,574	退職給付引当金	4,429	3,899	4,282
無形固定資産	6,382	7,418	6,794	役員退職慰労引当金	856	834	853
投資その他の資産	28,705	29,030	29,178	預り敷金及び保証金	22,718	21,596	22,284
投資有価証券	5,563	4,635	5,488	その他	1,340	1,688	1,469
差入敷金及び保証金	16,282	17,264	16,868	負債合計	226,255	218,680	228,742
その他	7,143	7,145	7,105	(少数株主持分)			
貸倒引当金	△ 284	△ 15	△ 284	少数株主持分	4,889	5,382	4,631
				(資本の部)			
				資本金	19,613	19,613	19,613
				資本剰余金	22,315	22,315	22,315
				利益剰余金	58,718	49,439	54,017
				その他有価証券評価差額金	1,225	813	979
				為替換算調整勘定	△ 3	△ 2	△ 3
				自己株式	△19,662	△ 3,935	△11,403
				資本合計	82,206	88,242	85,519
資産合計	313,351	312,305	318,893	負債及び資本合計	313,351	312,305	318,893

■ COMMENT

資産・負債・資本の状況

■ 資 産

3,133億円(前期末比 55億円減少)

たな卸資産の圧縮などにより流動資産は34億円減少。固定資産は、八代店の新設の一方で、減価償却の進展などにより20億円減少しました。これらの結果、当中間期末の総資産は前期末比55億円減少し、3,133億円となりました。

■ 負 債

2,262億円(前期末比 24億円減少)

前期末計上の設備未払金の資金決済により流動負債その他が減少、有利子負債も前期末比13億円減少し1,557億円となりました。これらの結果、当中間期末の負債は2,262億円(前期末比24億円減少)となりました。

■ 資 本

822億円(前期末比 33億円減少)

好調な営業成績を受け利益剰余金が47億円増加した一方、自己株式を82億円取得したことにより、当中間期末の株主資本は822億円(前期末比 33億円減少)となりました。なお、株主資本比率は26.2%となっております。

[連結] 損益計算書

単位:百万円

	当中間期 H17.3.1~H17.8.31	前中間期 H16.3.1~H16.8.31	前 期 H16.3.1~H17.2.28
営業収益	215,072	206,833	426,437
売上高	205,941	200,340	412,441
売上原価	158,709	154,834	318,975
売上総利益	47,231	45,505	93,465
営業収入	9,131	6,493	13,995
営業総利益	56,363	51,999	107,461
販売費及び一般管理費	45,726	43,455	87,690
営業利益	10,637	8,543	19,770
営業外収益	843	1,065	1,792
受取利息及び配当金	150	124	246
仕入割引	210	220	451
その他	483	720	1,094
営業外費用	937	1,125	2,099
支払利息及び社債利息	802	874	1,675
その他	134	250	424
経常利益	10,543	8,484	19,463
特別利益	142	75	277
特別損失	740	536	1,652
固定資産売却・除却損	539	128	423
投資有価証券売却・評価額	—	31	31
その他	201	376	1,196
税金等調整前中間(当期)純利益	9,945	8,022	18,089
法人税,住民税及び事業税	4,376	3,459	8,090
法人税等調整額	△ 202	71	△ 263
少数株主利益	345	159	661
中間(当期)純利益	5,425	4,332	9,601

■ COMMENT

連結損益の状況

■ 営業収益

2,150億円(前年同期比 4.0%増)

単体の既存店売上高は前年比100.0%と堅調に推移いたしました。また、昨年度開店の光の森店、呉店、当中間期開店の八代店の貢献により単体営業収益は前年同期比5.6%増加いたしました。連結子会社も増収を果たしており、連結営業収益は前年比4.0%増となりました。

■ 経常利益

105.4億円(前年同期比 24.3%増)

仕入原価や販管費の削減により営業利益率は単体が4.7%(前年同期比 0.7ポイント改善)、連結が5.2%(前年同期比 0.9ポイント改善)となりました。さらに、金融費用削減の効果も加わり、連結経常利益は前年比24.3%増となりました。

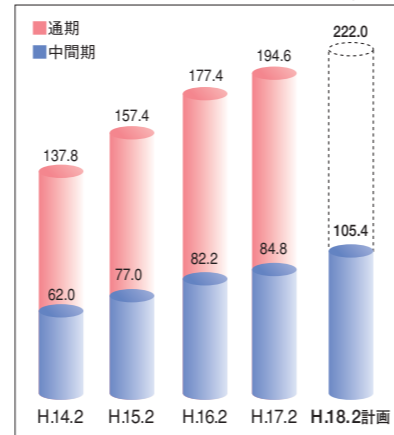
■ 当期純利益

54.2億円(前年同期比 25.2%増)

店舗閉鎖に係る固定資産売却損、除却損などの特別損失が前年同期より増加しましたが、経常利益の堅調な推移を受け、当期純利益は前年比25.2%増となりました。また、1株当たり利益は100.45円となりました。

経常利益(連結)の推移

単位:億円



[連結] キャッシュフロー計算書

単位:百万円

	当中間期 H17.3.1~H17.8.31	前中間期 H16.3.1~H16.8.31	前 期 H16.3.1~H17.2.28
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	9,945	8,022	18,089
減価償却費	5,606	5,454	11,460
たな卸資産の増減額	595	△ 546	△ 1,900
仕入債務の増減額	3,312	781	△ 1,963
法人税等の支払額	△ 4,927	△ 4,566	△ 7,699
その他	1,263	2,225	△ 20
営業活動によるキャッシュ・フロー A	15,795	11,370	17,966
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得・売却	△ 9,982	△ 17,021	△ 21,307
無形固定資産の取得・売却	△ 178	△ 279	△ 254
その他	1,939	30	444
投資活動によるキャッシュ・フロー B	△ 8,221	△ 17,270	△ 21,118
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入金の実行・返済	△ 1,640	△ 3,418	△ 4,692
社債・転換社債の発行・償還	△ 5,000	14,954	14,954
自己株式の取得による支出	△ 8,258	△ 777	△ 8,854
その他	4,535	274	4,112
財務活動によるキャッシュ・フロー C	△ 10,364	11,034	5,519
4. 現金・現金同等物の換算差額	△ 0	△ 0	△ 0
5. 現金・現金同等物の増減額	△ 2,789	5,134	2,367
6. 現金・現金同等物の期首残高	12,600	10,184	10,184
7. 新規連結に伴う現金・現金同等物の増加額	—	—	49
8. 現金・現金同等物の期末残高	9,810	15,318	12,600

■ COMMENT

キャッシュ・フローの状況

A 営業活動によるキャッシュ・フロー

会社の本業である営業活動によってどれだけの資金を獲得したかを表したものです。

堅調な営業成績により税金等調整前中間純利益が増加したことに加え、仕入債務が増加したことにより当中間期の営業キャッシュ・フローは前年同期比44億円増加しました。

B 投資活動によるキャッシュ・フロー

店舗新設等の設備投資や有価証券投資など期中の投資活動による資金の増減を表したものです。

昨年度開店の光の森店、呉店の設備未払金の資金決済及び当中間期開店の八代店の設備代金支払いにより82億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの差額は75億円の余剰となりました。

C 財務活動によるキャッシュ・フロー

営業活動および投資活動を維持するためにどれだけの資金を調達あるいは返済したかを表したものです。

普通社債の償還などにより有利子負債が減少したことに加え、自己株式の取得による支出が82億円あり、財務活動によるキャッシュ・フローは103億円の支出となりました。なお、現金及び現金同等物の残高は27億円減少しております。

[単体] 貸借対照表

単位:百万円

	当中間期 H17.8.31	前中間期 H16.8.31	前 期 H17.2.28		当中間期 H17.8.31	前中間期 H16.8.31	前 期 H17.2.28
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	32,020	40,701	36,002	流動負債	57,659	54,787	58,446
現金及び預金	3,551	10,477	5,962	買掛金	16,308	15,213	13,428
売掛金	3,467	2,647	2,524	短期借入金	20,778	15,421	15,605
たな卸資産	13,536	12,574	13,778	1年内償還予定の社債	—	5,000	5,000
繰延税金資産	1,536	1,347	1,456	未払法人税等	3,527	2,593	3,579
その他	10,125	13,720	12,294	賞与引当金	1,637	1,608	1,202
貸倒引当金	△ 191	△ 66	△ 13	ポイント割引引当金	810	720	784
固定資産	212,906	208,143	213,919	その他	14,598	14,229	18,846
有形固定資産	178,254	171,597	178,294	固定負債	108,150	107,741	108,096
建物	90,751	86,054	89,380	転換社債型新株予約権付社債	20,000	20,000	20,000
土地	72,008	65,446	72,077	長期借入金	65,308	66,237	65,727
建設仮勘定	1,727	6,027	3,028	退職給付引当金	3,826	3,450	3,717
その他	13,767	14,069	13,808	役員退職慰労引当金	794	779	794
無形固定資産	5,564	6,492	5,923	預り敷金及び保証金	17,722	16,885	17,327
投資その他の資産	29,086	30,053	29,702	その他	498	386	528
投資有価証券	6,475	5,995	6,519	負債合計	165,810	162,528	166,543
差入敷金及び保証金	18,739	19,951	19,329	(資本の部)			
繰延税金資産	1,285	1,176	1,258	資本金	19,613	19,613	19,613
その他	2,870	2,945	2,879	資本剰余金	22,282	22,282	22,282
貸倒引当金	△ 284	△ 15	△ 284	利益剰余金	53,370	45,982	49,589
				その他有価証券評価差額金	1,174	810	959
				自己株式	△17,325	△ 2,372	△ 9,066
				資本合計	79,115	86,316	83,379
資産合計	244,926	248,844	249,922	負債及び資本合計	244,926	248,844	249,922

COMMENT

新規出店と閉店

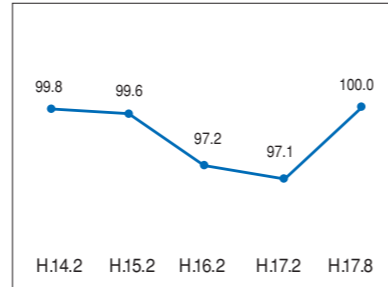
中間期末店舗数	71店舗
新設	1店舗
閉店	1店舗

COMMENT

既存店売上高前年比

既存店売上前年比	100.0%
— 客数前年比	100.2%
— 客単価前年比	98.8%

既存店売上前年比 単位:%



[単体] 損益計算書

単位:百万円

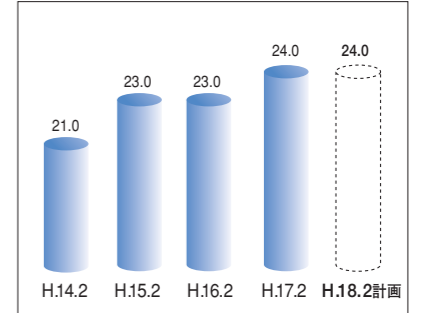
	当中間期 H17.3.1~H17.8.31	前中間期 H16.3.1~H16.8.31	前 期 H16.3.1~H17.2.28
営業収益	178,914	169,437	349,083
売上高	171,596	162,877	335,307
売上原価	133,417	126,626	260,868
売上総利益	38,179	36,250	74,439
営業収入	7,317	6,560	13,775
営業総利益	45,497	42,810	88,214
販売費及び一般管理費	37,432	36,313	73,229
営業利益	8,064	6,497	14,985
営業外収益	593	875	1,395
営業外費用	733	799	1,602
経常利益	7,924	6,574	14,778
特別利益	141	81	240
特別損失	421	435	1,254
税引前中間(当期)純利益	7,645	6,220	13,764
法人税、住民税及び事業税	3,387	2,630	6,169
法人税等調整額	△ 245	107	△ 184
中間(当期)純利益	4,503	3,482	7,780
前期繰越利益	1,363	1,374	1,374
中間配当額	—	—	690
中間(当期)未処分利益	5,866	4,856	8,464

COMMENT

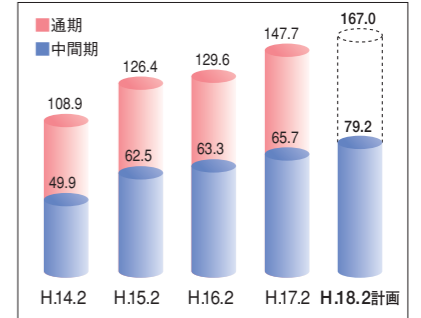
1株当たり配当金

当中間期	12.00円
前中間期	11.50円
前期	24.00円

配当金の推移 単位:円



経常利益(単体)の推移 単位:億円



会社概要 (平成17年8月31日現在)

設立年月日 昭和36年10月27日
 本社所在地 広島市南区京橋町2番22号
 TEL 082-264-3211 (代)
 資本金 19,613,856,196円
 従業員 正社員 2,075名
 パートタイマー 4,183名 (1日8時間換算)
 店舗数 71店
 中国地方 55店
 広島県 29店 岡山県 11店
 山口県 10店 島根県 5店
 九州地方 14店
 福岡県 9店 佐賀県 1店
 大分県 1店 長崎県 1店
 熊本県 2店
 その他 2店
 香川県 1店 兵庫県 1店

役員一覧 (平成17年8月31日現在)

取締役会長 山西 義政
 代表取締役社長 山西 泰明
 代表取締役副社長 高西 宏昌
 取締役 真下 梅夫
 取締役 夏原 平次郎
 常勤監査役 川本 邦明
 監査役 滝本 豊水
 監査役 松原 治郎
 監査役 通堂 泰幸

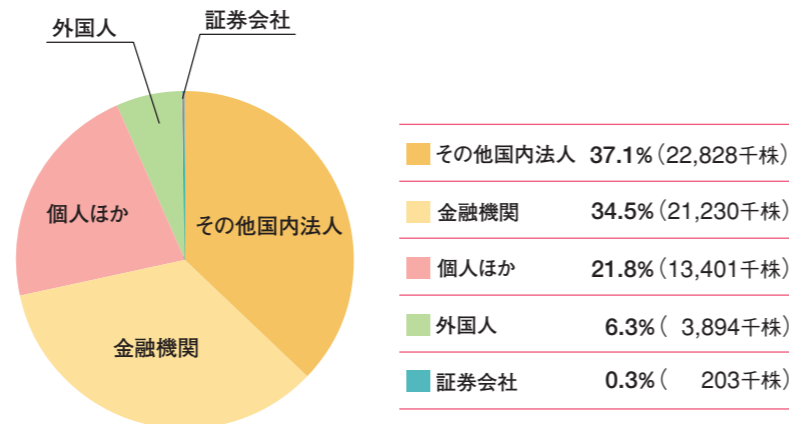
大株主の状況

	株式数	持株比率
(有) 泉屋	5,728千株	9.31%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	4,430千株	7.20%
山西ワールド(有)	3,871千株	6.29%
(株) 泉不動産	3,152千株	5.12%
日本生命保険(相)	2,607千株	4.24%
(株) 広島銀行	2,539千株	4.13%
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	2,019千株	3.28%
第一生命保険(相)	2,015千株	3.27%
(株) 泉興産	2,000千株	3.25%
イズミ広島共栄会	1,548千株	2.52%
10社合計	29,913千株	48.59%

株式の状況 (平成17年8月31日現在)

会社が発行する株式の総数 195,243,000株
 発行済株式の総数 61,558,710株
 株主数 3,710名
 1単元の株式数 100株

株式の分布状況



株価の推移

